



## 代表幹事 就任に際して

京都大学技術士会  
代表幹事

嶋田 弘僧



2025 年度より第 6 代副会長兼代表幹事を務めることとなりました。よろしくお願ひいたします。まずは自己紹介させて下さい。1980 年に京都大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程を修了後、富士通株式会社に入社し、交換機のソフトウェア開発、情報通信システムの企画、ISO9001、ISO14000 認証取得支援、西暦 2000 年対応、通信機器の設計関連の品質管理の業務に従事し、2020 年に定年退職しました。

技術士は 1996 年に情報工学部門、2007 年に総合技術監理部門を取得し、2018 年に嶋田技術士事務所を開設し現在に至ります。日本技術士会では、2007 年から 6 年間、情報工学部会の部会長、2013 年から 4 年間、統括本部の理事を務め、その間いろいろな委員会の委員を歴任し、現在は神奈川県支部の副支部長を務めています。当会では 2013 年の設立時から幹事を務め、広報と大技連を担当しています。

当会は今年で 13 年目を迎え、会員は 847 名(2025 年 2 月 5 日時点)となりましたが、目標の 1000 人には達していません。大学が関西にあるにも関わらず関東の会員の方が多いという特色があります。このため毎年 11 月のホームカミングデーに京大で大会・講演会を開催するとともに、東京でイブニングセミナーなどを開催し、また、技術士を目指す方への説明会を京都と東京で行っております。

対外的には、大学技術士会の交流の場である大学技術士会連絡協議会(大技連)に 2013 年に加盟し、2018 年から幹事校を務め、昨年事務局長を担当しています。大技連と連携し、他大学技術士会とも交流を広めたいと考えています。

今後できるだけ多くの会員の皆さまに参加いただけるように、多様な交流やサービス拡充に努めてまいります。代表幹事とはいうものの、先頭に立って引っ張っていくタイプではありませんので、幹事の皆さまのご協力を仰いで会を盛り上げていきたいと思っています。



## 京都大学技術士会 新体制について

本会では 2025 年度の運営体制について協議した結果、下表のとおり決定に至りました。

**黄色の網掛け**で示された方が新任または異動された方です。

副会長兼代表幹事には、嶋田弘僧氏を選出し、前任の樋口義弘氏は参与兼事務局に就任いたしました。加えて、4 月より長澤英治氏、佐藤理氏、橋本宗明氏、水田潤一氏、濱田利正氏、中山敦喜氏が新たに幹事を務められることになりました。

会員の皆様に置かれましては、引き続き本会の運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 2025 年 4 月から

氏名	役割、担当
大西 有三	名誉顧問
大津 宏康	会長
立川 康人	副会長
高橋 良和	副会長

<b>嶋田 弘僧</b>	<b>副会長 兼代表幹事</b>
佐伯 賢一	副会長 兼副代表幹事
武山 正人	監事
高宮 脩武	参与
林 克己	参与
武藤 光	参与
石原 吉雄	参与
綾木 光弘	参与
田岡 直規	参与
<b>樋口 義弘</b>	<b>参与 兼事務局</b>

佐竹 孝	副代表幹事	関東
新原 雄二	副代表幹事	関東
今西 秀公	副代表幹事	関東
下村 泰造	副代表幹事	関東
岩住 知一	副代表幹事	関西
宮嶋 直樹	副代表幹事補佐	関西
辻 浩樹	副代表幹事補佐	関西
辻井 修	事務局	関東
新宮 康之	事務局	関東
栗本 卓	幹事	関東
龍原 毅	幹事	関東
近藤 一寿	幹事	関東
築地 功	幹事	関東
福井 康仁	幹事	関東
<b>長澤 英治</b>	<b>幹事</b>	<b>関東</b>
<b>佐藤 理</b>	<b>幹事</b>	<b>関東</b>
山崎 洋右	幹事	関西
大坪 利行	幹事	関西
上田 泰史	幹事	関西
千田 琢	幹事	関西
久保田 正博	幹事	関西
狩野 陽	幹事	関西
有野 剛史	幹事	関西
仲矢 順子	幹事	関西
田邊 陽一	幹事	関西
森下 滋	幹事	関西
中野 信一	幹事	関西
中井 範一	幹事	関西
<b>橋本 宗明</b>	<b>幹事</b>	<b>関西</b>
<b>水田 潤一</b>	<b>幹事</b>	<b>関西</b>
<b>濱田 利正</b>	<b>幹事</b>	<b>関西</b>
<b>中山 敦喜</b>	<b>幹事</b>	<b>関西</b>

特別寄稿

桜門技術士会の活動

桜門技術士会  
副会長

蛸原 巖



本年の6月までは事務局長として会務全般を担当していましたが、会の若返りと新事業の推進のため、副会長に異動しました。

1. 組織の概要について

桜門技術士会は、母校日本大学と日本技術士会の発展を目的とした校友会組織であり、1992年6月に設立され、本年で33周年を迎えました。その組織は、総務部会、業務部会、広報部会、企画部会の4つで構成されています。

表-1 桜門技術士会の部会と会務分掌

部会名	分掌事項
総務部会	会則・細則等の制改定 会員管理・財務管理、総会運営
業務部会	技術士(一次・二次)試験の受験指導 異業種交流・業務開発
広報部会	活動内容の学内外へのPR 会員増活動、会報発行
企画部会	講演会・見学会の企画運営 外部団体との交流と情報交換

2. 三部会で柱となる事業について

桜門技術士会組織の中で総務部会以外は、学内外に向けた事業を立案し開催をしています。そこで、本節では業務、広報、企画の三部会の柱となる事業について紹介します。

表-2 三部会で実施している事業

部会	分掌事項	実施している事業
業務	技術士試験の受験指導	技術士制度説明会の開催 試験対策講座の開催 受験対策本の出版
広報	活動内容の学内外PR	OUMON Magazine 発行 活動報告発行 HP や SNS による発信
企画	講演会等の企画運営	桜門クルーズの開催 桜門ゼミナールの開催 桜門フォーラムの開催

業務部会では、在校生と卒業生に技術士資格の取得にむけた受験指導をおこなっています。技術士制度説明会は、在校生向けの啓発活動であり、毎年100~150名の学生が集まります。試験対策講座は、在校生向けの第一次試験対策講座と卒業生向けの第二次試験対策講座です。第一次試験対策講座は、弊会理事が講師となり、基礎・適性科目に加えて機械部門や建設部門などの専門科目を対面で実施しております。なお、制度説明会ならびに第一次試験対策講座の参加者募集は大学の就職指導課と連携して実施しています。第二次試験対策講座は、HPを介して指導依頼が事務局に届き、受験者が選択した専門科目に該当する指導技術士を会内外より紹介し、マンツーマン方式で実施しています。受験対策本の出版は、かねてより弊会理事が出版していた基礎・適性科目に加えて昨年度より桜門技術士会として専門科目の建設部門でも出版しました。また、本年6月には、機械部門でも出版する予定です。



写真-1 桜門技術士会で出版した書籍

広報部会では、桜門技術士会の活動状況を学内外に広報しています。広報の手段は、会誌等のアナログ広報と HP や SNS といったデジタル広報を併用しています。会誌 OUMON Magazine と活動報告は 1 年間に 1～2 度の頻度で発行しており、OUMON Magazine では、企画部会が開催する講演会（桜門フォーラム）などで扱うテーマの更なる深堀や、補完をしています。HP は主に学外への広報手段ですが、HP 更新と同時に SNS で会員ならびにフォロワーに同時配信する仕組みにしています。



写真-2 桜門技術士会の広報誌（最新号）

企画部会は、大学との連携強化、学生の意識向上などを目的に講演会、見学会、懇親会などを立案・運営しています。開催する企画には、「松・竹・梅」ならぬ「硬・中・軟」の 3 段階があり、一年を通して開催しています。桜咲く春は、大学教員や新入生・在校生らとの懇親を主とした軟らかめの企画である桜門クルーズ、就職活動も本格化する夏は、学生



写真-3 桜門クルーズ

らの興味をひくような企業を探訪する中程度の企画である桜門ゼミナール。教養の秋は、昨今の社会情勢からテーマを選定した講演会など硬めの企画である桜門フォーラムを開催しています。

### 3. 今後の活動について

今まで紹介した事業を長年継続したことで、桜門技術士会は校友会の範疇を越えた団体として大学内で認知され、多方面で連携を図ることができました。今後は、卒業生らを対象とした技術士資格に関するリカレント教育やセカンドキャリアなどの新たな事業展開を模索しています。しかしながら、これら新事業は桜門技術士会と母校が同じ目標に向かって協働してこそ、大いなる効果を生みます。よって、今後は母校との連携から協働へと関係を深めつつ、事業展開をしていこうと考えています。

## 第 20 回講演会開催



講師の 堀 高峰 様

2025 年 3 月 17 日に京都大学技術士会主催の第 20 回講演会が東京丸の内の京都大学東京オフィスにて開催されました。この行事は、当会の主要事業の 1 つである会員の継続研鑽を目的として企画されたもので、20 回目となる今回は、国立研究開

発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）・海域地震火山部門・地震津波予測研究開発センターの堀高峰様（理学研究科、1998 年博士（理学））を講師にお招きして、「地震発生予測の難しさと震災軽減に向けた予測への挑戦」という題目でご講演をいただきました。

この講演会は、会場である京都大学東京オフィスからオンライン（Zoom/YouTube）でも配信され、会場とオンライン合わせて約 150 名の方の参加申込みがありました。

堀様の講演では、昨年 8 月に発生した日向灘沖地震の際に初めて発表された「南海トラフ地震臨時情報」について解説していただき、改めて地震発生予測の難しさをご説明いただきました。また、地震の力学モデルにもとづく地震の予測や JAMSTEC で取り組まれている太平洋側の海底地盤の調査から得られたプレートの動きやプレート間の固着域の分布などから、地震発生の予測の可能性についてご説明いただき、スーパーコンピュータ「富岳」を用いた最新の地震シミュレーションについてもご紹介いただきました。そして、講演の最後に、南海トラフ地震に対しては日頃から備えをしておくことの大切さをお話いただきました。



講演会の模様

## 第 33 回「技術士を目指そう」 説明会開催



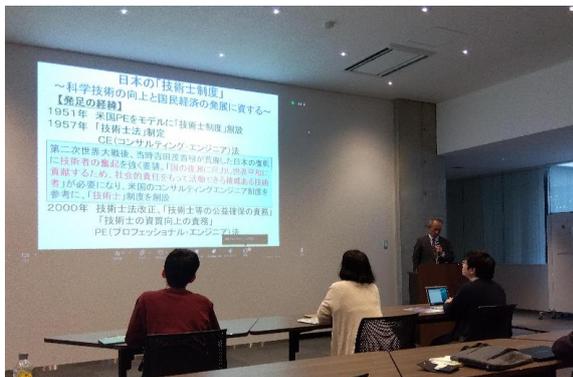
高橋副会長による開会挨拶

京都大学大学院工学研究科主催、京都大学技術士会共催の「第 33 回技術士を目指そう説明会」が京都大学桂図書館で Zoom を併用して開催され、技術士の受験を考えている京都大学の学生さんや卒業生が現地参加 3 名、Zoom 参加 21 名、合計 24 名の参加で行われました。

第 1 部では、辻浩樹副代表幹事補佐（工学研究科・1996 年修了）の司会進行の下、京都大学工学研究科の高橋良和教授（工学研究科 1996 年修了）の開会挨拶のあと、宮嶋直樹副代表幹事補佐（応用物理学部門）による京大技術士会の紹介、佐伯賢一副会長（工学研究科 1994 年修了・建設部門）による技術士制度の概要、資格の法的・社会的な位置づけ、求められる資質や能力、試験制度と受験資格についての説明がありました。

これに続き「技術士による体験談」として、橋本宗明幹事（農学部 2004 年卒・建設部門）、大木正美会員（農学研究科 2006 年修了・森林部門）より、それぞれの体験を交えた技術士資格取得方法やそのメリットに関する講演を行いました。今回は女性の技術士登録での旧姓の使用の可否など、新しい視点での講演がありました。

また第 2 部として、現地参加者のグループと、web 参加者を 2 つに分けた計 3 つのグループに分かれて、個別相談会が実施されました。参加者からは、受験に関する疑問点や、取得資格の部門について等の活発な質疑応答が交わされました。



佐伯副会長による技術士制度の説明



グループに分かれての個別相談



## 会員の自由寄稿 ドローンの最新事情



澤田 雅之

私は、1978 年に警察庁に入庁して、2013 年に警察情報通信研究センター所長を退職しました。その後、技術士資格(電気電子部門)を取得して、2015 年に技術士事務所を開業しましたが、同年の首相官邸ドローン落下事件を契機として、カウンタードローンに関する調査研究に注力しました。そして、伊勢志摩 G7 サミット、大阪 G20 サミット、ラグビー W 杯、東京オリンピック等に向けて、警察庁、警視庁、海上保安庁、経済産業省、関係府県警察本部等でカウンタードローンについての講演を行ってきました。2018 年以降は空の産業革命に向けたドローンの利活用にも調査研究の対象を拡大して、これまでに多数の執筆や講演を実施しています。その集大成として、2025 年 3 月に、Kindle の電子書籍と紙の書籍 (A5 版 187 頁、税込 3190 円) で、「ドローン技術の最新事情」を出版しました。

【1978 年工学研究科修了、電気電子部門、澤田雅之技術士事務所所長】

## 会員の自由寄稿 架線レス LRT

橋本 道哉



私は国鉄で電気鉄道の専門家として従事し、海外鉄道の技術協力を行い、計 7 カ国、10 案件のプロジェクトを実施しました。国鉄を退職してから宇都宮に LRT 導入するお手伝いをしました。市民運動に参加して毎月宇都宮に通いました。

架線を市内に張り巡らせるのは危険でもあり、景観を汚しますので、計算書を付して架線レスを提案しましたが運輸省が許可しませんでした。わざわざ計算しなくても車両を走行する電力を保存するリチウムイオン電池の方が架線システムより安くなることは直ぐ分かります。将来全固体電池が開発されると性能も向上し、価格も安くなり、益々有利になります。

まだ実現されていませんが、今後進めていくつもりです。

【1958 年工学部卒業、電気電子部門、橋本技術士事務所代表】



## 新規会員自己紹介

釜下 知之



はじめまして。釜下知之と申します。  
2009 年に修士課程卒業後、現 JFE エンジニアリング(株)に入社、現在は東南アジアのプラント建設工事のプロジェクトマネジメント業務に従事しています。以前にインドネシア・シンガポールでの赴任を経験、現在はベトナムに赴任しています。

2020 年に技術士(化学部門)に登録しました。  
本技術士会での交流を通じ、研鑽を積み、技術者として精進していく所存です。

【2009 年工学研究科修了、化学部門、JFE エンジニアリング株式会社】

中瀬 有祐



皆様はじめまして、中瀬有祐と申します。卒業後、建設コンサルタントの復建調査設計に入社し、以来 24 年間勤めております。出身は大阪ですが広島が本社の会社に入り、広島、大阪で勤めた後、現在は東京に単身赴任しています。主に土砂災害に関する計画、調査、設計に携わっています。

本会は社内先輩から紹介があり入会させていただきました。建設コンサルタント業界では技術士が必須ですので、免許的な感覚で取得しましたが、本

会には様々な分野の方がいらっしゃることに驚きました。

学生時代は「京都を歩く会」というサークルで寺社仏閣巡りをしていましたが、今は東京を歩いています。本会を通じて異分野交流できればと思っていますので、よろしくお願い致します。

【2001 年工学部卒、総合技術監理部門・建設部門・森林部門、復建調査設計株式会社】

岸本 典文



皆さま初めまして、岸本典文と申します。令和 6 年度、情報工学部門で二次試験に合格しました。現在、京都大学数理解析研究所にて専門職（技術）として勤務しておりますご縁で、本技術士会に入会させていただきました。

学生を相手にすることもある中で、専門性のみならず倫理性も備えた技術者になることを目指したのが私の原点です。技術士の名に恥じない働きをし、研鑽を積んでまいりたいと思います。

体を動かすことが好きで昼休みには農 G を走ったり、総合体育館でバドミントンや卓球をしたりしています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

【情報工学部門、京都大学 数理解析研究所】

村井 佑次



2015 年地球工学科国際コースに入学、2018 年に会長である大津先生の研究室に入り、様々ご指

導を受けながら、修士課程を修了後、JFE エンジニアリング株式会社に入社しました。入社後 1 年間は橋梁の新設及び改築現場における施工管理業務に従事し、その後橋梁の改築設計部署に配属され、主に高速道路橋の床版取替設計、斜張橋の耐震補強設計業務に携わってきました。関東拠点の会社ですが、担当案件が関西に集中しており、出張の合間に学生時代になじみのあったお店へ訪れるのを楽しみとしています。京大技術士会では様々な分野を専門とする方々と交流を図れることを楽しみにしております。よろしくお願い致します。

【2021 年工学研究科修了、建設部門、JFE エンジニアリング株式会社】

布引 純史



はじめまして、布引です。

京大理学部時代は、ノーベル物理学賞の益川先生の単位を一つ頂戴しました。

NTT 研究所に就職後 GIS やホーム ICT の研究開発に携わり、NTT 西日本・NTT 都市開発を経て、今は NTT アドバンステクノロジーで人事を担当しています。技術士はその過程で身に付けたプロジェクトマネジメントを題材に取得しました。そのノウハウで、現在人事給与システム更改も担当しています。

趣味では、京都検定 2 級取得し寺社仏閣美術骨董巡り、菜園でシャインマスカットを育て、DIY（塗装・内装・木工・溶接・配管・電気配線・3D プリンタ）で古屋を丸ごとリノベをして、サウナ・水風呂を完成させました。

本会にていろいろ勉強させていただきますので、よろしくお願い致します。

【1992 年理学部卒、情報工学部門、NTT アドバンステクノロジー株式会社】

楠本 優一



京都大学農学部を卒業後、保険会社に就職し、事故が起きた時の査定業務を 30 年近く行っています。

最近は大規模な産業機械や電気機器から家電製品まで、様々な事故の原因の分析、損害の評価、再発防止などの研究などを行っていますが、日常業務で技術士先生方に多大なアドバイスをいただいている中で、自分自身も技術士を目指して電気系の勉強をするようになりました。

今後も技術士の方々のネットワークを大切に、さらなる専門性を身につけるべく自己研鑽を積み重ねたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【1996 年農学部卒、技術士補（電気電子部門）、東京海上日動火災保険株式会社】

渡部 一雄



はじめまして、渡部と申します。93 年に電気工学専攻を修了し、株式会社東芝に入社して現在も在籍しております。

入社から 20 年は DVD などの光ディスクの研究開発に携わっていましたが、事業終息となり、一転、橋梁などインフラ構造物の老朽化対応のシステム開発に従事しております。

業務転換後に学んだ内容について資格を取得したいと考え、昨年度、建設部門(鋼構造及びコンクリート)を取得、登録いたしました。

本会については、日本技術士会からの書類で知り、入会させていただきました。

現在の仕事でも京大にお伺いする機会もあり、皆様と交流できることを楽しみにしております。

【1993 年工学研究科修了、建設部門、株式会社東芝】

武藤 輝生



はじめまして、武藤と申します。2025 年に上下水道部門で技術士登録いたしました。

現在、中部電力にて地域インフラ事業の一環として、効率的かつ持続可能な上下水道事業運営の在り方について模索しております。

今後ともよろしくお願いいたします。

【2008 年工学研究科修了、上下水道部門、中部電力株式会社】

辻本 裕之



はじめまして、辻本裕之と申します！京大では建築構造を学び、その知識を活かして日本製鉄で 14 年間働いた後、関西に U ターンするためクボタへ転職しました。これまで国内外の工場・プラント・物流施設・事務所・保育所など、多種多様な建設プロジェクトに携わり、発注者として累計 1,500 億円を超えるプロジェクトを推進してきました。

技術士試験には「自分自身への挑戦だ!」という気持ちで臨みましたが、当日は緊張や腱鞘炎で手が震え、半ば諦めかけていました。それでも幸運にも一発合格することができ、自分でも驚いています。

今後は技術士として自己研鑽を続けるとともに、後輩の育成にも尽力していく所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【2008年工学研究科修了、建設部門、株式会社クボタ】

一次試験合格で準会員として入会できます  
準会員の入会もお待ちしています

## 会員の自由投稿募集

本紙に掲載する会員の皆様の自由投稿を募集します。掲載ご希望の方は、下記の内容を下記の会報担当アドレスまでお寄せください。

### 《自由投稿 執筆要領》

- ① 標題 (概ね10文字以内)
- ② 内容 (技術士として、京大との関わりなど、ご自由に300文字程度)
- ③ 最終行【】内に【卒業(修了)年、学部(研究科)、技術部門、所属】を記入
- ④ 顔写真 (JPEG形式)

### 《会報担当アドレス》

office@ku-pe.net



## 会員の皆様へ

### 1. 入会・登録情報変更方法

[京都大学技術士会ホームページ](#)から必要な情報をお送りください。最近、登録いただいているアドレスにメールが届かない事例が多くなっております。メールアドレスが変更になった方は、事務局までお知らせいただきますようお願いします。

### 2. 京大卒の技術士さんに入会をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じでしたら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。

### 3. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

### 4. ご提案、ご意見お待ちしております

イベントのご提案や、改善すべき点などのご意見は、[ホームページ](#)からお願いします。

## 編集後記

1967年生まれ、今年で58歳になります。このところ急にいろいろと体の各所にガタが来て、加齢が進んでいることを実感します。

そこでどうするか。もともとジムでトレーニングなどをしていましたが、それも加減しないとあちこち痛くなるだけで、かえって逆効果なのだと感じています。職場で自分の子供と同世代の若い部下を見て「若くていいなあ、うらやましい」と思いつつ、アンチエイジングではなくウィズエイジングというのも考えておかなければならないと思うこの頃です。

(今西 秀公 1993年工学研究科修了、建設部門・総合技術監理部門、前田建設工業株式会社)